

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和07年06月20日(金)

事務事業		交通バリアフリー関連事務		担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	44331
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり	根拠法令 個別計画等	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」				
	小項目	2	公共交通の維持確保と交通安全の推進						
	主要プロジェクト								
事業概要		平成12年11月に施行された「交通バリアフリー法」に基づき、平成15年3月「深谷市交通バリアフリー基本構想」を策定し、深谷駅周辺において、バリアフリー化を一体的かつ重点的に推進するものである。							
目的 ※何のために		高齢者および障害者等が利用する公共交通機関や道路の利用環境改善。							
対象 ※誰・何を対象に		鉄道事業者やバス会社などの公共交通事業者、何：鉄道やバスの車両や施設							
手段 ※どのように		運行事業者や道路管理者等に対しバリアフリー化を働きかける。							
成果 ※何を求めるか		深谷駅周辺のバリアフリー化。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ボランティア <input checked="" type="checkbox"/> NPO等 <input checked="" type="checkbox"/> その他( 障がい者団体など )							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・バリアフリー法に基づく総合調整				・			
		・公共交通事業者等との調整				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			

## 2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		特定経路等の整備状況の管理	特定経路等の整備状況の管理	特定経路等の整備状況の管理	特定経路等の整備状況の管理		
事業費	予算(現額)	0	0	0	0		
	決算額	0	0	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	0	0	0		
人件費	従事職員数(人)	0.25	0.25	0.22	0.30		
	人件費相当試算※	1,967,390	2,002,542	1,808,894	2,558,346		
総事業費試算		1,967,390	2,002,542	1,808,894	2,558,346		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

### 3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	今後整備が必要な特定経路の数 特定経路 9 路線中、8 路線は完了	目標値	経路	1.00	1.00	1.00			
		実績値		0.00	0.00	0.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		※残る特定経路 1 路線は、深谷小学校通りで、幼稚園・こども館建設に合わせ整備する予定。						
	実績値の算出式								
活動指標 2	バス会社に対しノンステップバスを市内路線へ導入呼びかけ回数	目標値	回	1.00	1.00	1.00			
		実績値		1.00	1.00	1.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		呼びかけ回数／実績による						
	実績値の算出式								
成果指標 1	特定経路の整備状況（累計値）	目標値	経路	9.00	9.00	9.00			
		実績値		8.00	8.00	8.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		※道路管理者が整備計画を立てるため設定になじまない。 / 道路管理課より						
	実績値の算出式								
成果指標 2	ノンステップバスの導入状況 民間バス 2 社、市コミバスの合計	目標値	台	45.00	45.00	45.00			
		実績値		40.00	40.00	40.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		【深谷駅】武蔵観光 5（0）＋コミュニティバス 40（40） / ノンステップバスの導入車両						
	実績値の算出式								
成果指標 3	ノンステップバスの導入率	目標値	%	100.00	100.00	100.00			
		実績値		88.80	88.80	88.80			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		深谷駅発ノンステップバス全運行本数÷深谷駅発の全運行本数／実績						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

### 4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえ A～C の三段階にて評価します。  
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

#### （1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	整備予定となっている特定路線の内、最後の 1 路線についてはこども館の整備などの他事業の実施時期と併せ整備予定となっているため、未実施となった。 ノンステップバスの導入については、民間バスに対し呼びかけを行い、令和 7 年 4 月より運行を開始したコミュニティバス「くるりん」北部シャトル便+周遊便についてもノンステップバスでの運行とすることができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	整備予定となっている特定路線の内、最後の 1 路線についてはこども館の整備などの他事業の実施時期と併せ整備予定となっているため、未実施となった。 ノンステップバスの導入については、指標的な変動はないものの、令和 7 年度の改編に伴い、北部シャトル便+周遊便において、運行バスの変更は生じたが、ノンステップバスでの運行を維持することができた。
			評価者 市街地整備係長 松本 拓陽

#### （2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	ノンステップバスの導入については、民間バス会社へ対し直接呼びかけを行っており、達成へ向けた効果的な運用が図られている。
			評価者 市街地整備係長 松本 拓陽